



くりしま

《本園の教育目標》

- 仲良くできる子ども
- 元気な子ども
- 心豊かな子ども
- 努力する子ども
- 体を鍛える子ども

《栗島幼稚園ホームページ》

栗島幼稚園

検索

『 夏・ナツ！ ゆっくり・ゆったり！ 』

～急かせない・強いらぬひと時に～

園長 矢田 泰久

今年の梅雨、関東地方ではあまりにも極端に少ない日照時間、低温続きで驚きです。他方、九州や中国地方では記録的な豪雨でたくさんの方が被災され、自然の営みの不安定さは、今に生きる私たちにとって身近で大きな心配ごとです。不安要素の一つです。

その影響は、園児たちにとっても同様で、外遊び、水遊び、プールの回数が減りました。しかし、子供たちの純真で無邪気な素晴らしさ故に、天気や気温で水に親しむ遊びの回数が減ろうとも、みんな元気一杯水遊びやプールでの遊びに興じています。時には道具を巧みに工夫して違う楽しみ方を探そうと、まさに子供は遊びの天才です。発想が柔軟で知恵を働かせ、発達を積み重ねています。

また、カレーパーティーに始まり、6・7月誕生日会、夕涼み会、ほし組ではそうめんづくり、年長組では6歳臼歯健康教室、スイミング最終、日光お泊り保育などの行事で、今月も快の体験をたくさん蓄えました。



<7月2日カレーパーティー>



<7月8日ほし組そうめんづくり>



<7月4日 6・7月誕生日会>



<7月8日6歳臼歯健康教室>



<7月17日(順延)夕涼み会>





<7月10日年長プール遊び>



<7月9日年長スイミング最後>



さて、いよいよ長〜い 6 週間の夏休みが始まります。まずは、生活リズムを崩さず元気に外遊びと内遊びをして、事故や事件に遭いませんようにと祈ります。次に、普段の生活や幼稚園生活では味わうことのできない貴重な時間です。子供はわくわく楽しい時です。



<7月19~20日 年長お泊り保育>



とは言え、とりわけお母さんは大変です。電車に乗っていると、小さいお子さんを連れのお母さんを見かけます。それもバギーを押したり何人も連れだしたりしていると、つい『アッ！ 危ない』手を強く引っ張るお母さん。『何やっているの？ 早くしなさい！』とお尻を押すお母さん。子供はキョトンと目がうつろで理解ができない様子です。もちろん、電車で移動中のことです。危険や周りの動きに合わせないといけけないので、大人はつい急かせます。

夏休みに可能な限り普段できない体験や経験を積むことができますと、子供の人格形成の土台となります。好奇心をもって生き物や自然に触れること、描いたり作ったりして達成感を味わうことなど、貴重な体験です。

とりわけ、勉強とか宿題という言葉とは程遠いこの時期に、子育てを 24 時間楽しめるよう、意図的にゆっくり・ゆったりとしたひと時を持たれたらと思います。プチなテーマや目標をもって、お子さんと一緒に運動するハイキングをする。絵本や本を音読する。カードゲームやおもちゃで遊ぶなど、急かせない強いらないのんびりとした夏でありますようにと願います。昨年私は、自宅から職場まで時間をかけて歩いたり、10 回のジョギングをしたりしました。一方、家から出ずにハウスキーピングに徹したり料理をしたり、孫と遊んだりしました。

結びに、子育ては不安や心配ことで大変ですが、気分転換が必要です。けれども、すでに子育てを終えた私が申し上げられることは、幼稚園・小学校の 9 年間は、親にとって、とりわけお母さんにとってとても楽しい具体的な子育ての時期です。中学から成人として巣立つまでは、自立に向け精神的に心理的にどう支えるかの見守りが中心となります。夏のひと時、ゆっくり・ゆったりとお子さんと過ごしてください。8 月下旬、夏の思い出を伺うことを楽しみにしております。